



平成 30 年 10 月 15 日

各 位

会社名 株式会社 東京 衡 機
代表者名 代表取締役社長 竹中 洋
(コード番号 7719 東証第2部)
問合せ先 常務執行役員管理担当 猪野 久仁朗
(TEL. 03-5207-6760)

特別損益の発生および業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

平成 31 年 2 月期第 2 四半期連結会計期間において、下記のとおり特別損益を計上いたしましたのでお知らせいたします。また、平成 30 年 5 月 1 日に公表いたしました平成 31 年 2 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損益の発生およびその内容

(1) 特別利益の発生

・ 収用補償金の計上

平成 30 年 3 月 2 日付「中国子会社の本社工場の収用および移転に関するお知らせ」にて開示いたしました中国子会社である無錫三和塑料製品有限公司（以下「無錫三和」といいます。）の本社工場の収用に伴う補償金を特別利益に計上いたしました。

(連結) 463 百万円

(2) 特別損失の発生

・ 工場移転費用の計上

無錫三和の本社工場の収用に伴う移転関連費用を特別損失に計上いたしました。

(連結) 107 百万円

・ 訴訟損失引当金繰入額の計上

無錫三和の事業再構築に伴い発生した元従業員等との労働関係訴訟等に対する損失見込額を特別損失に計上いたしました。

(連結) 39 百万円

2. 業績予想と実績値の差異

(1) 平成 31 年 2 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想と実績値の差異(平成 30 年 3 月 1 日～平成 30 年 8 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	2,600	250	200	180	円 銭 2 52
実績値(B)	2,434	112	97	310	円 銭 43 60
増減額(B-A)	△166	△138	△103	130	—
増減率(%)	△6.4	△55.2	△51.5	72.2	—
(ご参考)前年同期実績 (平成 30 年 2 月期第 2 四半期)	2,084	△254	△279	△68	円 銭 △0 96

(2) 差異の理由

平成 31 年 2 月期第 2 四半期連結累計期間の業績のうち売上高につきましては、エンジニアリング事業においては、量販店向け商品の一部は伸び悩んだものの、比較的堅調に推移いたしました。試験機事業において前期の大型案件の売上が当第 2 四半期連結会計期間に計上された一方で、当第 2 四半期連結会計期間に売上計上予定だった一部の大型案件が当第 2 四半期連結会計期間以後にずれ込んだこと、海外事業において、中国子会社の本社工場の収用の移転期間における一時的な操業停止の影響があったことなどから、前回予想を下回る結果となりました。

営業利益につきましては、各事業において販売管理費の抑制に努めたものの、売上高の減少に伴う利益の減少をカバーするには至りませんでした。また、経常利益につきましては、有利子負債の抑制に努め支払利息等の削減を行いました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、上記の特別利益に計上した中国子会社の収用に係る収入の金額の確定に時間を要したこと、また、それに対応する費用の見積りが困難だったことから前回発表予想時には見込まれていなかったこと、税金費用の大幅な増加があったことなどから、前回予想を上回る結果となりました。

以 上